



平成 25 年 11 月 20 日

各 位

会 社 名 三菱製紙株式会社
代表者名 取締役社長 鈴木 邦夫
(コード番号 3864 東証 第一部)
問合せ先
上席執行役員社長室長 前田 清 電話 03-5600-1481
広報・IR室長 白川 文人 電話 03-5600-1485

第 1 次中期経営計画について（フェーズ 2 ローリングプラン）

当社グループでは、東日本大震災により、主力の八戸工場が極めて大きな被害を受けたことから、「洋紙事業の復興」（フェーズ 1）と「成長に向けての収益基盤強化」（フェーズ 2）を柱とした「第 1 次中期経営計画」（計画期間：2011 年 10 月から 2015 年 3 月）を実行しています。フェーズ 1 の「洋紙事業の復興」については概ね完了し、現在は、フェーズ 2 「成長に向けての収益基盤強化」に取り組んでおりますが、事業環境が大きく変化し、計画前提条件との乖離が大きくなったことから、事業環境変化に即した早急な対応が必要と判断し、第 1 次中期経営計画フェーズ 2 の戦略および基本計画値の見直しを下記の通り行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 見直し計画の名称
第 1 次中期経営計画 フェーズ 2 ローリングプラン
2. 計画の期間
フェーズ 2 ローリングプラン：2013 年 4 月～2016 年 3 月（最終年度を 1 年延長）
（全体の計画期間：2011 年 10 月～2016 年 3 月の 4 年 6 ヶ月）
3. フェーズ 2 「成長に向けての収益基盤強化」の取り組みテーマ
 - （新規）八戸工場構造改革の断行
 - ・八戸工場分社化・子会社再編による労務費の削減
 - ・エネルギー事業関連・省エネルギーの推進
 - ・配合改良等
 - ・物流費改善
 - （新規）海外市場への踏み込み強化
 - ・米国デジタル印刷市場への本格参入
 - ・日本・欧州オフセット印刷市場への品揃え強化による新規顧客の開拓
 - ・成長期待の感熱紙 世界マーケット 3 位を確保
 - （新規）成長商品のニッチマーケットへの資源投入
 - ・新商品を梃子とした機能性フィルム分野への本格参入（タッチパネル等）
 - ・自動車用キャビンフィルターのクロスボーダーでの生産・販売体制の確立
 - ・水処理膜支持体の量産体制確立／LiBセパレータのグローバル展開
 - （新規）ノンコモディティ化の推進
 - ・平判製品比率向上／情報用紙化の推進
 - （継続）財務体質の強化
 - ・有利子負債の早期返済の実行

4. 経営数値目標（フェーズ2 ローリングプラン）

	2012年3月期 中期経営計画 実績	2013年3月期 中期経営計画 実績	2014年3月期 中期経営計画 見通し	2015年3月期 中計最終目標 見直し中計	2016年3月期 見直し中計 最終目標
売上高	2,000億円	2,300億円	2,350億円	2,400億円	2,300億円
	1,949億円	2,009億円	2,100億円	2,200億円	
営業利益	30億円	75億円	80億円	100億円	85億円
	22億円	33億円	17億円	57億円	
経常利益	10億円	45億円	50億円	70億円	60億円
	9億円	27億円	10億円	35億円	
有利子負債	1,700億円	1,700億円	1,600億円	1,500億円	1,400億円
	1,580億円	1,553億円	1,500億円	1,450億円	
D/Eレシオ	3.7倍	3.4倍	3.0倍	2.6倍	2.3倍
	3.2倍	2.9倍	2.8倍	2.6倍	

以上